

平成29年度  
市町村議会議員研修「2日間コース」

第2回「自治体決算の基本と実践—行政執行の用い決算審査—

平成29年7月26日(水)～7月27日(木)

### 報告書

- 議決なき執行はできない。○ 決算と予算の連動性。決算がスタート。情報の宝庫。○ 過不足を明らかに示すのが決算。
- 監査は戦務の調査。○ 議会の予算審議を確認する。
- 後注評価。○ 必要は説明の母。○ 政策的傾向を行へ予算に生かす。○ 制度の趣旨を正しく執行。○ 決算。将来世代に何を残すか。将来負担と考える。○ 世代間の負担の衡平。
- 総合計画は行革。○ 住民と共働きを志す。○ 議会の評価をする立場におき、権限がある。○ 議決権を持つ行政評価。多面的評価。○ 行政評価シートを活用。○ 施策評価。○ 人の質がどう変化したが。○ 行政が評価を投資する：とにより質がどう変化したが。地域の質。○ 行政の評価シートを議会がチェック。
- 評価シートを議会が作る。

※平成26年4月22日 総務省：公共施設等総合計画の策定を要請

※平成26年4月30日 総務省：新地方制度公認  
後 改革における「新基準」の表示。

※平成26年5月8日 日本創生会議：提言

ストップ人口急激社会、国民の希望出生率の実現  
地方中核政令都市圏の創生

※ 議会における決算認定  
決算書(決定)

- ① 歳入歳出計算書 ② 歳入歳出決算事項別明細書
- ③ 実収収支に関する調書 ④ 財産に関する調書

監査委員の意見書(監査委員作成)、主要な施策の成果報告書

※ 決算審査における着眼点

### 基本方針

(1) 予算審議(当初・補正)との関連から審査する。

- ・ 予算の執行によって、目指す目的は達成されたのかどうか。
- ・ 予算審議における質疑は、執行の中で遵守されたのかどうか。
- ・ 付帯決議がある場合、決議内容が実行されたのかどうか。

(2) 市民の視覚から審査する。

- ・ 予算の執行によって財政状況はどのようになっているのか。
- ・ 財政状況の改善に向け、行政改革は進められたのか。
- ・ 財政状況の中で、実施すべき行政サービスは目的を達成したのかどうか。

(3) 全体を捉えてから、細部の議論。まず、木の大きさ(全体の規模)から、枝ぶり(全体の構成)、そして、葉っぱ(各事務事業)を思っていく。

# 視覚

決算審査においては、財務数値、財産、成果の種別等の視覚化、  
分析する。

## 1) 財務数値の視覚

### ① 決算規模の年度比較

- 決算規模を前年度と比較する
- 主たる変化の要因は何か。

### ② 決算収支の状況の年度比較

- 実質収支の状況の異なる調査に示される決算収支の状況を前年度と比較する。
- 変化の主たる要因は何か。

### ③ 予算の執行状況の分析

◦ 歳入：予算現額に対する調整額、収入済額、未収入額、収入未済額と前年度と比較する。大きな変化があった/~~決算~~ なかった。ことをどう見るか。

◦ 歳出：支出済額、翌年度繰越額、不用額等と前年度と比較する。大きな変化があった/なかった。ことをどう見るか。

◦ 決算額の構成比を、款別、項別で見ると。

◦ 歳出については、さらに、目的別、節別、性質別で見ると。


## ④ 財政構造の分析

- (1) 歳入の構成：自主財源と依存財源の構成、経常的収入と  
 リ臨時収入の構成等
- (2) 歳出の構成：歳出の性質別構成等
- (3) 財政比率：財政力指数、経常収支比率、経常一般財源  
 比率など。そして、財政健全化判断比率

## 所感

- 大山市において、行政評価の目的、行政指標と行政評価、  
 行政評価シートの理解が不十分。
  - 事務事業評価表の理解が不十分。
  - 定量評価の理解：指標の理解が不十分。
  - 定性評価の理解が不十分。
- 将来の、安心、自信、自由の保障のため、市民と共に研鑽  
 が必要を痛感した。

平成29年3月31日

大山市議会議員 西山寧三郎 

大山市議会議長 杉谷洋一 様